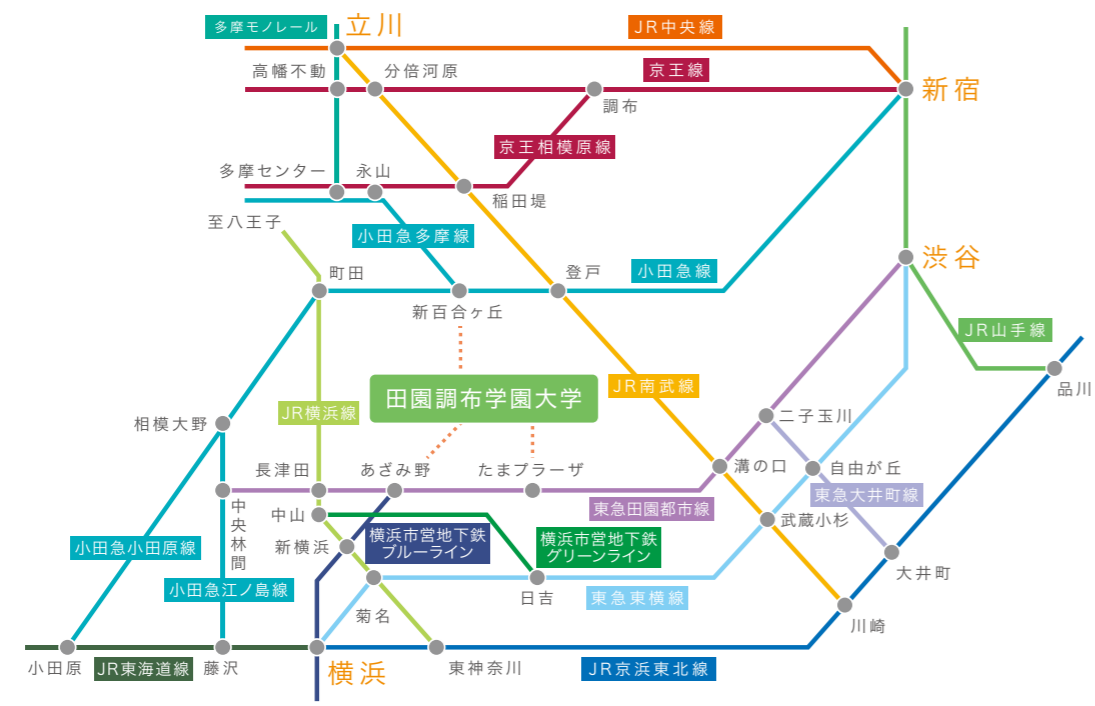
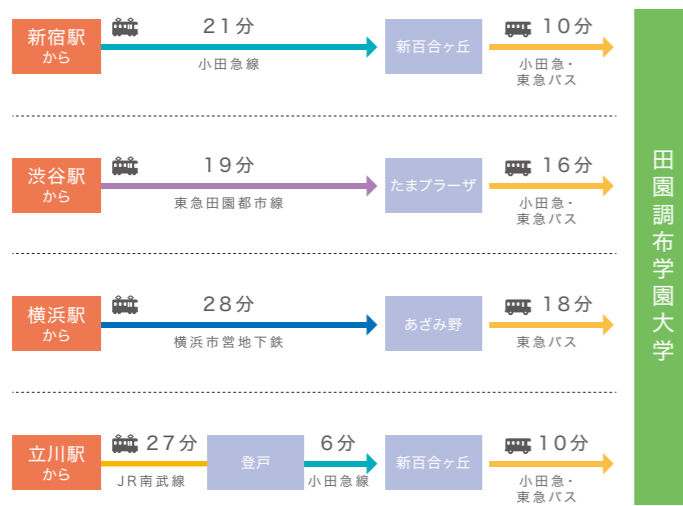


田園調布学園大学 人間科学部 心理学科
 田園調布学園大学大学院 人間学研究科 心理学専攻(修士課程)
入学ガイド

アクセスマップ



主な駅からの大学への所要時間



徒歩マップ



最寄駅からのバス便

- 小田急線「新百合ヶ丘駅」下車→小田急バスの番のりば「田園調布学園行」終点下車(バス約10分)
- 小田急線「新百合ヶ丘駅」下車→小田急バス・東急バスの番のりば「たまプラーザ駅行」田園調布学園前下車(バス約10分)
- 東急田園都市線「たまプラーザ駅」下車→東急バス・小田急バス⑥番のりば「新百合ヶ丘駅行」田園調布学園前下車(バス約16分)
- 東急田園都市線・横浜市営地下鉄「あざみ野駅」下車→東急バス④番のりば「田園調布学園大学行」終点下車(バス約18分)

人の「こころ」を
 理解することからはじまる
 国家資格がある。

田園調布学園大学

〒215-8542 神奈川県川崎市麻生区東百合丘3-4-1 TEL 044-966-9211(代表)
 TEL 044-966-6800(入試広報課) TEL 044-966-3565(大学院事務室)
 URL <http://www.dcu.ac.jp>



田園調布学園大学は、 心理職初の国家資格 「公認心理師」 を養成します。

田園調布学園大学では、2019年4月より、
新たに誕生した心理職初の国家資格「公認心理師」の養成をスタートします。

公認心理師の養成に対応した
カリキュラムの学部 学科「人間科学部 心理学科」と
大学院の専攻「人間学研究科 心理学専攻(修士課程)」を新設します。

心理学の視点から人の「こころ」を理解し、
人々の生活や社会、環境等のさまざまな課題に対応できる
実践力のある心理専門職を養成します。

田園調布学園大学の目的

田園調布学園大学は、建学の精神「捨我精進」と人間尊重を基調とし、時代の要請に対応できる柔軟な思考力と行動力のある人間性豊かな人材を育成し、もって地域社会・国際社会の福祉に貢献することを目的とする。

人間科学部 心理学科の目的

【人間科学部】

建学の精神である「捨我精進」と人間尊重に基づき、すべての人間が生涯を通じてその人らしく生きていくための知識・技術・方法を身に付け、社会の発展に貢献できる人材を育成することを目的とする。

【心理学科】

心理学の知識と技法に基づく支援を行い、共生社会の実現に寄与する人材を養成することを目的とする。

大学院 人間学研究科 心理学専攻の目的

田園調布学園大学大学院人間学研究科心理学専攻は、学部教育の上に人間学的学識に基づき、多様・多元な共生を志向する心理支援の専門職を養成することを目的とする。

新設する学部 学科、大学院 専攻の概要

学部・大学院等の名称	基本情報	取得可能な資格等
大学 人間科学部 心理学科	入学定員：40名 3年次編入：5名 収容定員：170名	社会教育主事(課程認定申請中) 児童指導員任用資格 認定心理士 認定心理士[心理調査] 心理学検定など
	学位：学士(心理学)	
	※「公認心理師」受験資格は、本学卒業後に大学院に進学し、 国家試験に合格することで取得することができます。	
大学院 人間学研究科 心理学専攻	入学定員：5名 収容定員：10名	公認心理師(受験資格)
	学位：修士(心理学)	

新設する学部 学科、大学院 専攻の特徴

1 広い視野で心の理解をめざすカリキュラム

人間の心の働きをさまざまな角度から幅広く学んでいきます。心に対する理解を深め、心の複雑さを知ることで、困難を抱える人々の個性を受け入れ理解する力を育みます。
また、社会のなかでの心理学の位置づけや他の学問分野との関連性、現代社会の抱える問題等にも目を向け、柔軟な思考力と健全な判断力をもった豊かな人間を育てます。

2 現場実習を通じて社会で求められる「心のケア」を学ぶ

保健医療分野、福祉分野、教育分野、司法・犯罪分野、産業・労働分野の5つの領域で80時間(大学院450時間)以上に及ぶ実習を行います。現場での体験は自らの適性を見極める貴重な機会です。心理支援の技術を学ぶとともに、臨床心理業務の実践を肌で感じることが出来ます。

3 現代社会に生きる人が直面する課題への適切な支援方法を学ぶ

生涯学習的な視点から現代社会の抱える課題について深く学んでいきます。誰もが社会から阻害されることなく、安全・安心に暮らせる共生社会を生涯学習的な視点から学修し、専門的な知識や技能を身に付けます。
「社会教育主事」資格(課程認定申請中)の取得も可能です。

4 心理支援専門職につながる学び

心理学の専門的な学びを深めることで、国家資格「公認心理師」資格取得への道が開かれます。心理学をより専門的に学びたい人、カウンセラーなど心理支援専門職を目指す人のために、心理学科では大学院への進学も視野に入れたカリキュラムを用意しています。

5 「公認心理師」を目指して併設大学院へ

心理支援専門職の国家資格「公認心理師」の受験資格が取得可能な大学院人間学研究科心理学専攻を併設し、心理学の多彩な分野についての高度な教育・研究指導を行っています。さらに「公認心理師」受験に向けたサポートも行います。

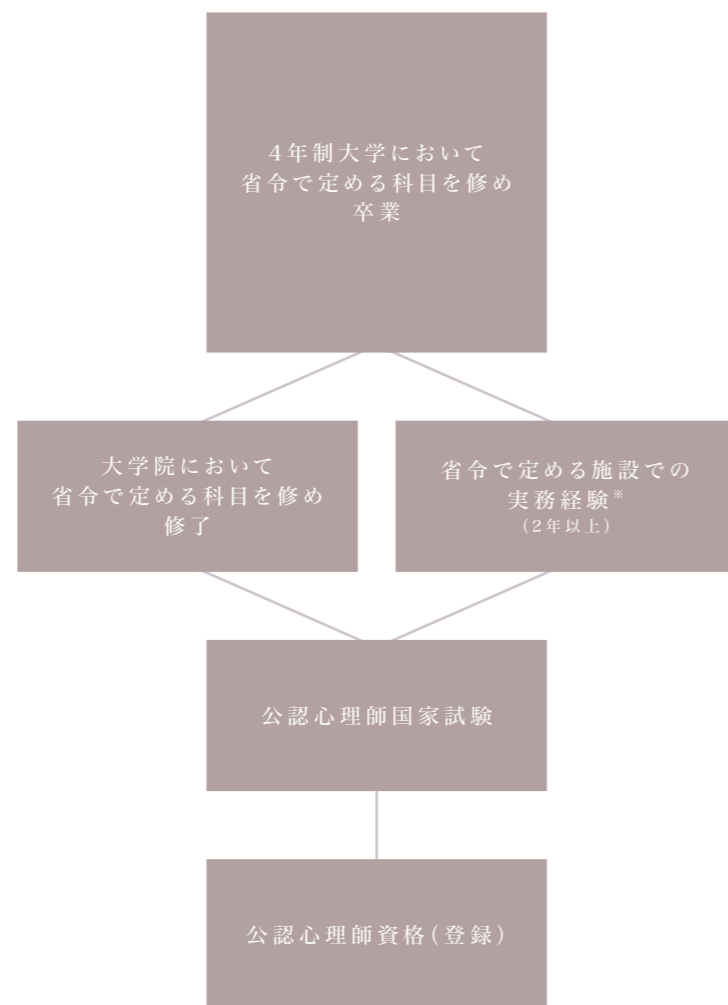
公認心理師とは

公認心理師とは、2017年9月15日に施行された「公認心理師法」に基づく国家資格であり、公認心理師登録簿への登録を受け、公認心理師の名称を用いて、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を行うことを業とする者をいいます。

- 1 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
- 2 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
- 3 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
- 4 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

公認心理師になるためには

資格取得には、4年制大学において文部科学省・厚生労働省令(以下、省令)に定められた科目の単位を修得して卒業後、大学院において省令で定める科目を修めて修了するか、省令で定める施設において2年以上の実務経験(※)を積むことで国家試験の受験資格が得られます。



※「実務経験」においては、省令で定める施設において、文部科学省・厚生労働省が認めるプログラムのもと、公認心理師法に基づく大学院と同等以上の専門的知識および技能を修得する必要があります。

公認心理師になるために必要な科目

本学で公認心理師の国家試験の受験資格を得るためには、人間科学部心理学科で25科目、大学院人間学研究科心理学専攻で10科目の修得が必要です。

人間科学部 心理学科		人間学研究科 心理学専攻	
1 心理学概論	14 心理学研究法	1 心理的アセスメントに関する理論と実践	
2 発達心理学Ⅰ・Ⅱ	15 心理学実験	2 心の健康教育に関する理論と実践	
3 神経・生体心理学	16 心理学統計法	3 心理支援に関する理論と実践	
4 人体の構造と機能及び疾病	17 教育・学校心理学	4 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	
5 学習・言語心理学	18 健康・医療心理学	5 保健医療分野に関する理論と支援の展開	
6 臨床心理学概論	19 福祉心理学	6 教育分野に関する理論と支援の展開	
7 社会・集団・家族心理学	20 司法・犯罪心理学	7 福祉分野に関する理論と支援の展開	
8 知覚・認知心理学	21 産業・組織心理学	8 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	
9 精神疾患とその治療	22 公認心理師の職責	9 産業・労働分野に関する理論と支援の展開	
10 感情・人格心理学	23 障害者・障害児心理学	10 心理実践実習	
11 関係行政論	24 心理演習		
12 心理的アセスメント	25 心理実習		
13 心理学的支援法			

公認心理師が活躍する場所



公認心理師と臨床心理士の違い

	公認心理師	臨床心理士
資格認定	国家資格	民間資格
業務内容	1) 心理査定や面接での査定(アセスメント) 2) 臨床心理学的な面接による援助(カウンセリング) 3) 関係者への面接 4) 心の健康に関する教育・情報提供活動	1) 心理査定や面接での査定(アセスメント) 2) 臨床心理学的な面接による援助(カウンセリング) 3) 地域のこころの健康を守るための地域援助 4) 査定や面接などを含めた心理臨床実践に関する研究や調査
医師との関係	医師の「指示」	医師とは「連携」や「協力」
更新制度	なし	あり(5年毎)
受験資格取得	原則: 大学卒業後に大学院修了	指定大学院修了

人間科学部 心理学科

Faculty of Human Sciences Department of Psychology

人間科学部心理学科の特色

心理学科は、心理学の知識と理論を基礎として「人の心に関する理解」を深く学び、心の側面から心理支援をおこなえる実践家を養成するために、公認心理師養成カリキュラムを取り入れています。さらに、人間共生に関する知識や考え方を、生涯学習の観点から学び、心理支援やメンタルヘルスと生涯学習を結びつけて、人間共生について理解を深める体系的な教育課程を編成しています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

人間科学部では、建学の精神「捨我精進」に沿って、人間の共生実現を積極的に志向し、その実現過程における様々な課題に向き合い、柔軟に解決する実践力をもった人材の育成と人間共生の実現に資する人間科学に関する知識、技法の教育研究をおこなうことを目的とし、加えて人間共生の推進における生涯学習の活用できる学生を求めます。

そのため、入学者選抜では、本学部の学生として必要な資質・能力及び学力並びに学修姿勢を入学前に身につけているか、入学後に身につけられるかという観点により、それらの資質・能力や学力等の水準を判定するための選考を実施します。

（詳細は <http://www.dcu.ac.jp/> ホームページに掲載しています。）

養成する人材像


【人間科学部】

「共生に向けて取り組む多様、多元な個人や集団の特徴や共生実現に関わる課題、およびその解決に関わる様々な知見や技術を、人間行動や思考、協力や協働といった広汎な観点から人間科学的に探求」する。これにより身につく資質・能力で養成する人物像とは「人間の共生実現を積極的に志向し、その実現過程における様々な課題に向き合い柔軟に解決する実践力をもった人材」養成をおこなう。

【心理学科】

「障がい者、高齢者、子どもやメンタルヘルス不調者を中心として、多様・多元な人々が共生するうえで生じる様々な心理的困難や課題の探求、解決および心理支援をおこない、さらに人々のメンタルヘルス維持・増進や、心理支援者である自らの資質向上のために生涯学習を活用できる人材」養成をおこなう。

カリキュラム一覧

区分	1年生	2年生	3年生	4年生
総合教育科目	心理学 倫理学 日本文化体験 美術概論 宗教学 日本国憲法 経済学	世界史 政治学 人間と環境 数学入門 生命科学 英語 英語コミュニケーション	韓国語 中国語 実用英語 スポーツⅠ スポーツⅡ スポーツⅢ アドベンチャー・スポーツ	スキー・スポーツ スノーボード・スポーツ 基礎演習 日本語表現法Ⅰ 日本語表現法Ⅱ コンピュータ・リテラシー
専門基礎科目	心理学概論 発達心理学Ⅰ 神経・生理心理学 人体の構造と機能及び疾病 学習・言語心理学 生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ 臨床心理学概論 発達心理学Ⅱ 社会・集団・家族心理学 知覚・認知心理学 精神疾患とその治療 社会教育施設論	感情・人格心理学 ライフサイクルと共生社会 現代社会と人権 関係行政論 心理学の歴史と発展	 卒業要件 「総合教育科目」：計24単位以上 ※ 「専門基礎科目」：計22単位以上 「専門基幹科目」：計28単位以上 「専門発展科目」：計50単位以上 合計：124単位以上 取得できる学位 学位：学士（心理学） 学位英文：Bachelor of Psychology	
専門基幹科目	人間共生マインド実践講座 環境教育演習 心理的アセスメント 心理学的支援法	心理的アセスメント演習 心理学的支援法演習 心理学研究法 心理学実験 社会教育演習Ⅰ 社会教育計画Ⅰ 心理学統計法 臨床心理学研究法 心理学応用実験 心理演習Ⅰ 心理実習Ⅰ 社会教育演習Ⅱ 社会教育計画Ⅱ	心理演習Ⅱ 心理実習Ⅱ 心理調査計画法 心理データ分析 心理演習Ⅲ 地域づくり研究	
専門発展科目	心理支援実践の基本	教育・学校心理学	健康・医療心理学 精神疾患と心理療法	福祉心理学 司法・犯罪心理学 産業・組織心理学 表現療法の理論と実践 コンサルテーション・リエゾン活動論
	地域・社会の課題と展開	障がい者スポーツ支援	障害者・障害児心理学 現代社会と貧困 心の発達と生涯学習 家族関係の形成と変化 地域生涯学習活動の支援 現代社会とジェンダー	保育・子育て支援の心理学 コミュニティ心理学 共生とケアリングの心理学 認知機能の低下・障がいと心理支援 感情とコミュニケーション チームアプローチ支援 グループダイナミクス 世代間交流の心理学 NPO活動と社会教育 少子高齢社会の地域活動 自立支援の理論と実践 子どもの心理支援とペアレントトレーニング 労働とメンタルヘルス 多文化共生
	総合・展開科目			キャリア講座 外書講読 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ
				海外研修 支援における倫理と態度 専門演習Ⅱ 卒業研究

※外国語科目から1単位以上：選択必修。

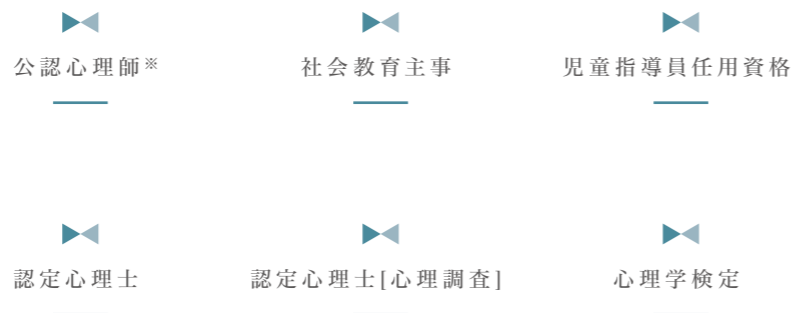
心理実習年間スケジュール

心理実習は、2年生(後期)の「心理実習Ⅰ」で40時間、3年生(前期)の「心理実習Ⅱ」で40時間、合計80時間以上の学外実習を行います。

	2年	3年
4月		
5月		
6月		心理実習Ⅱ
7月		学外実習Ⅱ (6日間)
8月		
9月		
10月		
11月		
12月	心理実習Ⅰ	学外実習Ⅰ (6日間)
1月		
2月		
3月		

※ 「心理実習Ⅰ」、「心理実習Ⅱ」の授業において実習指導を行い、授業期間中に学外実習を行います。

取得可能な資格等



※「公認心理師」受験資格は、本学卒業後に大学院に進学し、国家試験に合格することで取得することができます。

担当教員

職名	氏名	専門分野
教授	渡邊 由己	臨床心理学、教育心理学、コミュニティ心理学
教授	宮森 孝史	心理療法、心理アセスメント、認知神経科学
教授	伊東 秀幸	社会福祉学、心理学、精神保健福祉援助技術
教授	伊東 正裕	臨床心理学、精神保健学、心理療法
准教授	長岡 智寿子	社会学、教育学、ジェンダー
准教授	五島 史子	心理学、認知心理学、言語心理学、実験心理学
准教授	筒井 順子	臨床心理学、認知行動療法、医療分野のカウンセリング
講師	櫻井 優太	心理学、感情心理学、生理心理学、実験心理学
助教	新井 彩加	臨床心理学、精神分析的診療療法、心理アセスメント

サポート体制

田園調布学園大学は少人数教育を重視しています。学生一人ひとりとの信頼関係を大切に、少人数アドバイザー制度やオフィスアワー制度など、教員が連携し、学生生活のすべてをバックアップしています。

1 少人数教育

学生と先生の距離が近く相互にコミュニケーションが取りやすい少人数教育ならではの学習環境です。授業内容が良く理解できるだけでなく、「人の意見を聞く」「自分の意見を伝える」などのコミュニケーション能力が自然と身につきます。

2 アドバイザー制度

教養や専門知識の習得・研究、および人格の形成を達成できるようにアドバイザー制度が設けられています。アドバイザー担当教員が原則として、1、2年次通年で担当し、学生の生活や学業などに関する相談にのり、アドバイスをします。また、3年次、4年次は、原則として専門演習、ゼミナール、総合演習の担当教員がアドバイザーとなり親身に指導します。

3 オフィスアワー制度

オフィスアワーとは学生が希望する先生と、自由にさまざまな事柄について相談できる制度です。教員は、あらかじめ研究室に滞在している時間を公開していますので、学生と教員の触れ合いの場として大いに活用してください。もちろん、これ以外の時間帯にも教員は親身になってみなさんの質問に答え、相談にのってくれます。

想定する卒業後の進路

人間科学部心理学科の卒業生の進路は、卒業後に心理学の知識を活かし社会のさまざまな場面での活躍が期待されています。

心理学の知識を活かし企業や公務員として活躍	大学院に進学して資格を取得し、対人支援や心理学の専門家として活躍
<ul style="list-style-type: none"> ・製造・流通・サービス分野(人の消費や行動を分析し・企業活動に活用) ・金融分野(行動科学的アプローチ) ・NPO・NGO分野(心理学の知識を生かし地域や海外での支援活動) ・公務員(生涯学習の知識を生かす社会教育主事など) ・その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・教育・福祉分野(心理学の知識を生かした業務) ・公務員(心理職・心理相談員・心理判定員など) ・カウンセラー(公認心理師・臨床心理師)、心理学の研究者 ・その他

大学院 人間学研究科 心理学専攻

Graduate School of Human Science Course of Psychological Studies

人間学研究科 心理学専攻の特色

人間学研究科心理学専攻は、心理学を中心とした高度な心理支援の知識と技術を身につけ、人間的学識に基づき人間の多様性、多元性を尊重しながら、人々の抱える心理的困難に寄り添い、粘り強く解決することができる。質の高い「省察的実践家」の養成に取り組んでいます。

取得できる学位	修士(心理学)
学位英文	Master of Psychological Studies
取得可能な資格	公認心理師(受験資格)
標準修業年限	2年 ※長期履修制度有り(修業年限を3年または4年に延ばすことが可能)
授業時間	平日夜間(18:20~)および土曜日

アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

人間学研究科心理学専攻は、次のような資質や素養があり、本専攻の教育課程及び教育・研究の指導体制に従って学術の研究を進め、それぞれの修学目的を達成する見込みがある者に入学を許可します。

知識・技能

心理学研究に不可欠な専門的基礎知識、特に心理支援に必要とされる心理アセスメント、介入についての基礎知識、技術を身に付けていること。

思考力・判断力・表現力

心理学研究遂行に必要な倫理的判断力、思考力及び表現力を身に付けていること。

意欲・関心・態度

建学の精神「捨我精進」に沿って、他者と協同して教育・研究・実践に当たることができ、人間の多様性、多元性の共生を志向する心理支援の専門家として社会に貢献する目標を持っていること。

養成する人材像

「多様・多元な人々の共生を志向する心理支援の専門職」養成が、心理学専攻における人物養成の中核である。支援を求める個人や集団が様々な人々との関わりの中で、自らの求める文化性、経済性、芸術や余暇、生活環境などをいかに安心して実現できるか、つまり、「それぞれの地域で生活を営む人」という人間学的発想でみる、という視点をもちながら、その結果として地域の共生実現に寄与できる高度な心理支援の専門家であることが、理想とする養成する人物像である。

カリキュラム一覧

科目区分	授業科目の名称	単位数	配当年次	区分	備考	
基礎科目	人間学総論	2	1前	必修		
基本科目	人間学概論Ⅰ(哲学と人間)	2	1・2前	選択		
	人間学概論Ⅱ(文学と人間)	2	1・2後	選択		
	人間学概論Ⅲ(政治と人間)	2	1・2前	選択		
	人間学概論Ⅳ(芸術と人間)	2	1・2後	選択		
	人間学概論Ⅴ(自然と人間)	2	1・2前	選択		
	人間学研究法	2	1前	必修		
専門科目	基幹科目	心理的アセスメントに関する理論と実践	2	1前	必修	
		心の健康教育に関する理論と実践	2	1前	必修	
		心理支援に関する理論と実践	2	1後	必修	
		家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	2	1後	必修	
	展開科目	カウンセリング特論	2	1・2前	選択	隔年開講
		精神医学特論	2	1・2前	選択	隔年開講
		リハビリテーション心理学特論	2	1・2前	選択	隔年開講
		精神保健医療心理学特論	2	1・2後	選択	隔年開講
		コミュニティ臨床心理学特論	2	1・2後	選択	隔年開講
		認知行動療法特論	2	1・2後	選択	隔年開講
		臨床心理学特論	2	1・2後	選択	隔年開講
		心理支援技術演習	1	1前	選択	
		公認心理師総合演習Ⅰ	1	2前	選択	
公認心理師総合演習Ⅱ		1	2後	選択		
実践科目	保健医療分野に関する理論と支援の展開	2	1前	必修		
	教育分野に関する理論と支援の展開	2	1前	必修		
	福祉分野に関する理論と支援の展開	2	1後	必修		
	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	2	2前	必修		
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	2	1後	必修		
	心理実践実習指導Ⅰ	1	1後	選択		
心理実践実習Ⅰ	1	1後	選択			
心理実践実習指導Ⅱ	1	2前	選択			
心理実践実習Ⅱ	1	2前	選択			
心理実践実習指導Ⅲ	1	2後	選択			
心理実践実習Ⅲ	1	2後	選択			
研究指導	研究指導Ⅰ	2	1前	必修		
	研究指導Ⅱ	2	1後	必修		
	研究指導Ⅲ	2	2前	必修		
	研究指導Ⅳ	2	2後	必修		

修了要件

「基礎科目」 必修2単位 計2単位

「基本科目」 必修2単位 選択4単位以上 計6単位以上

「専門科目」 必修、選択から18単位以上 計18単位以上

「研究指導」 必修8単位 計8単位

以上、合計34単位以上を修得し、
修士論文を提出して
論文審査に合格すること。

心理実習年間スケジュール

	1年	2年
4月		
5月		心理実践指導Ⅱ
6月		
7月		
8月		心理実践実習Ⅱ (26日間)
9月		
10月		
11月	心理実践指導Ⅰ	心理実践指導Ⅲ
12月	心理実践実習Ⅰ (13日間)	
1月		
2月		心理実践実習Ⅱ (26日間)
3月		

※「心理実践実習Ⅰ」、「心理実践実習Ⅱ」、「心理実践実習Ⅲ」は、夏期休業期間、春期休業期間中に実施することを原則とします。
 ※「心理実践実習Ⅰ」(90時間)は、保健医療分野以外の4分野から選択とします。
 ※「心理実践実習Ⅱ」(180時間)は、医療機関での実習とします。
 ※「心理実践実習Ⅲ」(180時間)は、保健医療分野以外かつ「心理実践実習Ⅰ」で行った分野以外とします。

取得可能な資格等

公認心理師(受験資格)

本大学院において定められた科目を履修し課程を修了することで、「公認心理師」受験資格が得られます。

研究指導

「研究指導」は1年次から他の科目と並行して履修でき、自分自身が興味をもった研究テーマを熟成させながら、明確化できるようにします。1年次は主に研究方法の確立を目指し、予備調査などにより研究計画を練り上げていきます。2年次は、確立した研究方法をもって研究課題に取り組み、データの収集・解析などを行い、研究成果としてまとめていきます。

担当教員

職名	氏名	専門分野
教授	宮森 孝史	心理療法、心理アセスメント、認知神経科学
教授	伊東 秀幸	社会福祉学、心理学、精神保健福祉援助技術、
教授	渡邊 由己	臨床心理学、教育心理学、コミュニティ心理学
教授	中川 正俊	精神医学、精神神経科学
教授	伊東 正裕	臨床心理学、精神保健学、心理療法、

忙しい社会人にも対応した学習環境

授業は、平日夜間・土曜日に開講

社会人の方が就業しながら通学できるように平日夜間(18:20～)と土曜日に授業を開講します。

授業時間		月～金	土
1限目	9:00～10:30		授業時間
2限目	10:40～12:10		
3限目	13:00～14:30		
4限目	14:40～16:10		
5限目	16:20～17:50		
6限目	18:20～19:50	授業時間	
7限目	20:00～21:30		

長期履修制度

仕事が忙しい社会人学生を対象に、修業年限を延長し計画的に履修できる長期履修制度を整えています。長期履修制度を利用し、修業年限を3年または4年に延長した場合でも、授業料・施設費・教育充実費は2年間分です。

※入学試験時又は入学後に申請することができます。
 ※入学後一回に限り、長期履修期間を見直すこともできます。

対象	常勤の職業を有する者または、育児・介護等の事情により2年間の標準修年限での履修が困難な者。
長期履修期間	3年または4年

大学院生研究室

本大学院には、院生専用の研究室を設置しています。この研究室は多様な学生の学修や研究時間に対応するため、9時から22時まで開放し、時間内であれば自由に利用することができます。研究室内は、それぞれの作業に専念できる十分な空間を確保するとともに、複数台のパソコン、プリンタ及び書架、ロッカーが備え付けられています。また、室内には共同研究や打ち合わせもおこなえるよう、必要な図書、参考文献等を配架した共用のラーニングスペースがあります。

人間科学部 心理学科

募集定員

推薦入試	指定校推薦入学制度／公募制推薦入試 調布学園卒業生子女等入試	20名
一般入試	活動報告入試／一般入試／ AO入学制度／社会人入試	20名
合計		40名

2019年度 入試日程

入試区分	選考方法	出願期間(郵送必着)	選考日	合格発表	手続締切日
指定校制推薦入学制度	面接・書類選考	12月3日(月)～12月19日(水)	12月22日(土)	12月25日(火)	1月4日(金)
公募制推薦入試Ⅰ期 調布学園卒業生子女等入試Ⅰ期	面接・書類選考	12月3日(月)～12月19日(水)	12月22日(土)	12月25日(火)	1月4日(金)
公募制推薦入試Ⅱ期 調布学園卒業生子女等入試Ⅱ期		1月4日(金)～1月21日(月)	1月24日(木)	1月28日(月)	2月5日(火)
公募制推薦入試Ⅲ期 調布学園卒業生子女等入試Ⅲ期		1月4日(金)～1月30日(水)	2月3日(日)	2月6日(水)	2月14日(木)
公募制推薦入試Ⅳ期 調布学園卒業生子女等入試Ⅳ期		1月4日(金)～2月18日(月)	2月21日(木)	2月25日(月)	3月4日(月)
公募制推薦入試Ⅴ期 調布学園卒業生子女等入試Ⅴ期		2月6日(水)～3月4日(月)	3月7日(木)	3月11日(月)	3月18日(月)
活動報告入試Ⅰ期		12月3日(月)～12月19日(水)	12月22日(土)	12月25日(火)	1月4日(金)
活動報告入試Ⅱ期		1月4日(金)～1月21日(月)	1月24日(木)	1月28日(月)	2月5日(火)
活動報告入試Ⅲ期		1月4日(金)～1月30日(水)	2月3日(日)	2月6日(水)	2月14日(木)
活動報告入試Ⅳ期		1月4日(金)～2月18日(月)	2月21日(木)	2月25日(月)	3月4日(月)
活動報告入試Ⅴ期		2月6日(水)～3月4日(月)	3月7日(木)	3月11日(月)	3月18日(月)
一般入試A日程 (学費減免チャレンジ入試)	面接・書類選考 (活動報告書・証明書)	1月4日(金)～1月21日(月)	1月24日(木)	1月28日(月)	一括・分納Ⅰ 2月5日(火) 分納Ⅱ 2月12日(火)
一般入試B日程 (学費減免チャレンジ入試)	面接・書類選考 (活動報告書・証明書)	1月4日(金)～1月30日(水)	2月3日(日)	2月6日(水)	一括・分納Ⅰ 2月14日(木) 分納Ⅱ 2月21日(木)
AO入学制度Ⅰ期	事前提出: AOエントリーシート・課題 選考:面接・書類審査	1月4日(金)～1月21日(月)	1月24日(木)	1月28日(月)	2月5日(火)
AO入学制度Ⅱ期		1月4日(金)～1月30日(水)	2月3日(日)	2月6日(水)	2月14日(木)
AO入学制度Ⅲ期		1月4日(金)～2月18日(月)	2月21日(木)	2月25日(月)	3月4日(月)
AO入学制度Ⅳ期		2月6日(水)～3月4日(月)	3月7日(木)	3月11日(月)	3月18日(月)

全学統一入試のみWEB出願となります。詳細は、2019年度学生募集要項(人間科学部版)をご確認ください。

入試区分	選考方法	インターネット入力期間	必要書類送付期限 (郵送必着)	選考日	合格発表	手続締切日
全学統一入試	面接・書類選考 (活動報告書・証明書)	2月6日(水)10:00 ～3月9日(土)23:59	3月12日(火)	3月15日(金)	3月18日(月) 10:00	3月22日(金)

※出願の際は、2019年度人間科学部心理学科学生募集要項を必ずご確認ください。
 ※一般入試A日程とB日程は、同時に出願できます。その場合の入学手続締切日は、一般入試B日程に準じます。
 ※社会人入試の募集日程は、それぞれの募集要項をご確認ください。
 ※本学の受験を希望される方は、本学ホームページに掲載のアドミッション・ポリシーをご覧ください。

大学院 人間学研究科 心理学専攻

募集定員

人間学研究科 心理学専攻	5名
--------------	----

2019年度 入試日程

区分	入試制度	選考方式	出願期間	選考日	合格発表	手続締切日
Ⅰ期	一般入試Ⅰ期	筆記試験(専門科目)・ 口述試験(面接)・書類審査	2018年11月19日(月)～ 11月30日(金)(消印有効)	2018年 12月8日(土)	2018年 12月11日(火) (郵送)	2018年 12月20日(木) (消印有効)
	推薦入試Ⅰ期	小論文・口述試験(面接) ・書類審査				
	社会人入試Ⅰ期	口述試験(面接)・書類審査				
Ⅱ期	一般入試Ⅱ期	筆記試験(専門科目)・ 口述試験(面接)・書類審査	2018年12月28日(金)～ 2019年1月7日(月)(消印有効)	2019年 1月12日(土)	2019年 1月15日(火) (郵送)	2019年 1月31日(木) (消印有効)
	推薦入試Ⅱ期	小論文・口述試験(面接) ・書類審査				
	社会人入試Ⅱ期	口述試験(面接)・書類審査				
Ⅲ期	一般入試Ⅲ期	筆記試験(専門科目)・ 口述試験(面接)・書類審査	2019年2月4日(月)～ 2月15日(金)(消印有効)	2019年 2月23日(土)	2019年 2月26日(火) (郵送)	2019年 3月7日(木) (消印有効)
	推薦入試Ⅲ期	小論文・口述試験(面接) ・書類審査				
	社会人入試Ⅲ期	口述試験(面接)・書類審査				
Ⅳ期	一般入試Ⅳ期	筆記試験(専門科目)・ 口述試験(面接)・書類審査	2019年2月25日(月)～ 3月8日(金)(消印有効)	2019年 3月16日(土)	2019年 3月18日(月) (郵送)	2019年 3月22日(金) (消印有効)
	推薦入試Ⅳ期	小論文・口述試験(面接) ・書類審査				
	社会人入試Ⅳ期	口述試験(面接)・書類審査				

※2018年12月29日(土)～2019年1月4日(金)は、年末年始休業期間になります。左記期間に投函した郵便物の本学への到着は、1月5日(土)午後以降となります。

入学資格審査

入学資格審査制度 | 短大卒業や専門学校卒業にも受験チャンス

短大卒業や専門学校卒業であっても、入学試験前に入学資格審査を受けることによって、本学が大学卒業者と同等以上の学力があると認められた場合入学試験を受けることができます。入学資格審査については、大学院事務室までお気軽にお問い合わせください。

【入学資格審査から大学院入学までの流れ】



入学資格審査日程

区分	選考方法	受付期間	審査日	結果発表	備考
1回目	書類選考 ※必要に応じて 面接を実施します	2018年11月19日(月)～ 11月30日(金)(消印有効)	2018年12月8日(土)	2018年12月11日(火) (郵送)	Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期 入試出願可能
2回目		2019年1月14日(月)～ 1月25日(金)(消印有効)	2019年2月2日(土)	2019年2月5日(火) (郵送)	Ⅲ期、Ⅳ期 入試出願可能
3回目		2019年2月4日(月)～ 2月15日(金)	2019年2月23日(土)	2019年2月26日(火) (郵送)	Ⅳ期入試出願可能

人間科学部 心理学科 学費

(単位:円)

納付金(内訳)	1年次		2年次		3年次		4年次	
	入学手続時	後期分	前期分	後期分	前期分	後期分	前期分	後期分
入学金	300,000	—	—	—	—	—	—	—
授業料	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000
施設費	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000	220,000
小計①	870,000	570,000	570,000	570,000	570,000	570,000	570,000	570,000
諸会費	後援会費	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	学生活動支援費	10,000	—	10,000	—	10,000	—	10,000
	同窓会費	—	—	—	—	—	—	20,000
	小計②	40,000	30,000	40,000	30,000	40,000	30,000	50,000
納付金合計(①+②)	910,000	600,000	610,000	600,000	610,000	600,000	610,000	620,000

※納付金の納入時期は、初年度は入学手続時と後期(9月)に分納。2年次以降は前期(4月)・後期(9月)に分納。
 ※本学の教育研究活動の充実及び施設設備の拡充を図るため、入学後、任意の寄付金のご協力をお願いすることがあります。
 ※終了年次の納付金(後期分)に合わせて、同窓会費20,000円を別途納入いただきます。

大学院 人間学研究科 心理学専攻 学費

(単位:円)

納付金(内訳)	1年次		2年次		備考
	入学手続時	後期分	前期分	後期分	
入学金	200,000	—	—	—	入学時のみ
授業料	250,000	250,000	250,000	250,000	
施設費	100,000	100,000	100,000	100,000	
教育充実費	50,000	—	50,000	—	
実習費	40,000	40,000	40,000	40,000	
納付金合計	640,000	390,000	440,000	390,000	
年間納付金額	1,030,000		830,000		

※本学出身者の入学金は、100,000円。
 ※納付金の納入時期は、初年度は入学手続時と後期(9月)に分納。2年次以降は前期(4月)・後期(9月)に分納。
 ※本学の教育研究活動の充実及び施設設備の拡充を図るため、入学後、任意の寄付金のご協力をお願いすることがあります。
 ※終了年次の納付金(後期分)に合わせて、同窓会費20,000円を別途納入いただきます。

長期履修学生制度が適用された場合の学費(大学院のみ適用)

授業料は、標準修業年限分の授業料に相当する額を、長期履修期間に応じた分割納入となります。

(単位:円)

学年	標準2年	長期履修3年	長期履修4年	備考
1年次	1,030,000	780,000	615,000	
2年次	830,000	540,000	415,000	
3年次	—	540,000	415,000	
4年次	—	—	415,000	
総額	1,860,000			

※長期履修期間を超えて、大学院に在籍した場合の納付金は通常の納付金となります。

奨学金制度

奨学金は、田園調布学園大学独自のものや国、地方公共団体、民間企業など幅広い機関から提供されています。例として代表的な奨学金、日本学生支援機構奨学金概要を以下に紹介します。

日本学生支援機構奨学金

名称	種類	金額	対象
第一種奨学金 一定の学力基準を満たし、経済的に修学が困難な学生に無利息で貸与する奨学金。卒業後、返還が必要です。	貸与	学部生 自宅通学:2万円、3万円、4万円、5.4万円 自宅外通学:2万円、3万円、4万円、5万円、5.4万円、6.4万円 大学院生 修士課程:5万円または8万8千円	全年次
第二種奨学金 第一種奨学金に比べて学力基準がややゆるやか。卒業後、返還が必要です。	貸与	学部生 2万円~12万円のうち1万円単位で選択 大学院生 5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択	全年次

田園調布学園大学を体感しよう!

Open Campus 2018

Have fun!

入場自由 予約不要

人間科学部 心理学科
オープンキャンパス

12.9 [SUN.] 2019 3.24 [SUN.]
11:00-15:00

入場自由 予約不要

DCU祭&
オープンキャンパス

11.10 [SAT.]
11.11 [SUN.]

ミニたまゆり&
オープンキャンパス

2019 2.11 [MON.]



大学の授業が体験できる
模擬授業
毎回テーマを変えて行う模擬授業は実際の大学での学びをイメージするのに最適です。各学科・専攻ごとに開催しているので、興味がある授業を体験してみてください。



先輩と話そう!
在学生相談コーナー
授業や学生生活・サークルやアルバイトなど日常のキャンパスの雰囲気や学生に質問できます。勉強の難しさや部活と勉強が両立できるかなど、この機会に疑問に思っていることは全部聞いてみましょう。



学生がキャンパスをガイドします!
キャンパスツアー
学生がキャンパス内の実習施設などを学生生活エピソードを交えながら案内します。入学ガイドでは見えないキャンパス施設の魅力が体感できます。



全体説明会(入試・大学概要) 保護者対象説明会
個別相談ブース
学食体験

大学院 人間研究科 心理学専攻

入学相談会

11.11 [SUN.] 12.15 [SAT.] 2019 1.12 [SAT.]

研究室訪問や授業見学は、希望者と日程調整のうえ随時対応します。大学院事務室までお問い合わせください。

Campus Map

キャンパスマップ

皆さんのキャンパスライフを支えてくれる充実した施設や設備。
豊かな環境を最大限に利用して、最高の4年間を過ごしましょう。



① 体育館

主にスポーツの授業、クラブ活動で使用されます。更衣室・シャワー室も完備していて快適に使用できます。入学式もここで行われます。



⑧ 図書館

さまざまな分野の書籍や雑誌があり、地下1階のビデオブースでは教材用の映画などのDVDを落ち着いた雰囲気で見ることができます。



アクティブラーニングスペース

1階には絵本を中心にしてさまざまな世代の利用者と交流しながら学びを深めることができる、開放的なアクティブラーニングスペースが設置されています。

② 4号館



大中小教室のほか、学生食堂や音楽系の施設なども完備しています。



保育演習室

乳児保育の実技を体験する教室です。乳児の人形や沐浴の用具などが置かれています。



音楽スタジオ

音楽実技科目で使用されます。このほかにピアノレッスン室も複数備えています。



表現スタジオ

ピアノや壁面鏡があり、ダンスや表現系実技科目などで使用されています。



プレイルーム

心理学の実験などに使用します。子どもの遊具などが揃っています。



学生食堂

地下1階にあるガラス張りの開放的な食堂は低価格でラーメンから定食までさまざまなメニューがおいしく食べられます。



講堂

各種講演会、セミナーで使用されます。オープンキャンパスでも全体説明会などに使われます。

⑥ 部室体育室棟



体育系・文化系の部室があり、学生が部活動の拠点として利用しています。

④ 2号館



レンガを基調とした、あたたかな外観。地下1階地上5階の建物の中心は吹き抜けになっており、自然な光がこぼれます。



スペースミュージズ(表現活動室)

壁一面に張られた大きな鏡が特徴です。広さも十分にあり、ダンスや歌の練習に活用できます。



教室

どこからでも黒板の内容が確認できる、大きなモニターを設置した階段状の教室。



鏡庵(和室)

茶道や華道の設備を持った本格的な和室は、落ち着いた空間になっています。



PCルーム

約140台のパソコンを完備。最新施設で情報処理技術を学びます。



DCUスタジオ

地下にある防音ルーム。ここなら大きな音を出しても安心です。主に軽音楽部が使用しています。



セミナー室

少人数の授業も多い田園調布学園大学。授業の形態に応じた使い分けが可能です。

③ 3号館(なでしこホール)



大学の校章である五角形を模した、特徴的なデザインの建物です。全面ガラス張りの明るく開放的な空間になっています。



なでしこホール

オープンキャンパスやDCU祭をはじめ、多目的に使用できるホールです。「地域交流センター」を併設しています。

⑦ 1号館



通常の教室やセミナー室、造形アトリエ、国試自習室があります。2019年4月より、カウンセリング実習室、心理学実験室が新たに設置されます。

⑤ 5号館



授業で使われる教室のほか、介護系の設備や「福祉考房」もここに 있습니다。



調理実習室

充実した厨房機器を使用して、家庭食から介護食まで、栄養と調理の実践を学びます。



介護実習室

介護用ベッドや車いすなど、介護技術習得のために必要な各種施設が整っています。



カフェテリア

日差しが差し込む、明るく気軽に集えるスペースです。売店カウンターでは、お弁当やおにぎりなどの軽食も販売しています。